

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 気仙沼市立 条南中学校

【テーマ】 ① ② Ⅲ Ⅳ ⑤

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピックを身近に感じよう
～オリンピック選手の講演会をとおして～

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子 33名・女子 30名）

第2学年（男子 28名・女子 29名）

第3学年（男子 39名・女子 29名）

【目的・ねらい】

オリンピック選手であり、現日本フェンシング協会女子フルーレコーチ、そして本学校卒業生である菅原智恵子氏の経験や思いに触れることで、オリンピックやパラリンピックへの理解を深めるとともに関心を高める。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ ） ○ 道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

期日 平成28年11月15日(火) 10:40 ～ 12:20

演題 「志が未来を拓く -オリンピックへの道から見たもの-」

講師 日本フェンシング協会 女子フルーレコーチ 菅原 智恵子氏

- ・2004年 アテネオリンピック 15位
- ・2005年 ワールドカップ中国大会 優勝
- ・2007年 アジア選手権大会 3位
- ・2007年 世界選手権 フルーレ団体 銅メダル
- ・2008年 アジア選手権大会 フルーレ優勝
- ・2008年 北京オリンピック 7位入賞
- ・2012年 ロンドンオリンピック 7位入賞



(実施内容の続き)

内容

- ・親からの教え
 - うそをつかない 継続すること
- ・明るく素直で一生懸命
 - 引き寄せの法則 一生懸命頑張っている人の周りにはサポーターが集まる
- ・夢・目標
 - 達成できるとは限らない
 - 向かって頑張るなら必ずよい方向に向かっていく



(実践上の工夫点、留意点等)

講演会は、オリンピックをより身近に感じることができるよう、フェンシングの実際の映像を解説付きで見たり、オリンピックで実際に着たウェアを飾ったりして行った。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・この講演会をとおして、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高くなった。
- ・卓越性を追求するというメッセージの具現化について考えた。
- ・スポーツを行ったり、観戦したりする楽しさを、講演会をとおして高めることができた。
- ・来年度、南東北開催のインターハイにおいて、気仙沼で行われるフェンシングの話題が多く出るようになった。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックにおいて、いろいろな形で生徒が関わられるように、オリンピックの価値である「卓越、友情、敬意／尊重」、パラリンピックの価値である「勇気、決意、鼓舞、平等」を意識して、教育にあたっていきたい。